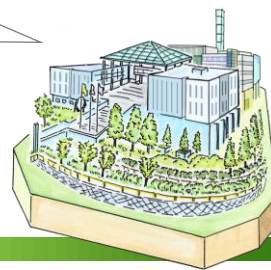


しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
<http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】 P2 TOPICS
P3 各チーム活動報告
P4-5 特集(ごみゼロ PT)

P6 主担研究員コラム
P7 市民研究所通信
P8 11・12 月行事予定



阪大 GECS によるイベント 9/9



ミニ研修(雑がみりサイクル) 10/7



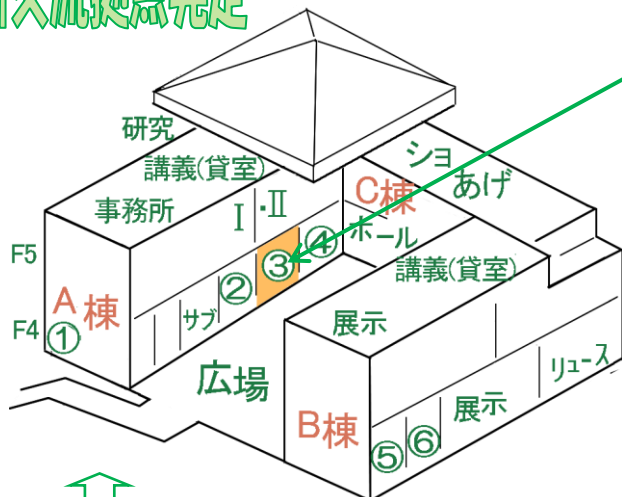
くるくるキッズ環境スクール 糸田川観察 10/14



市民研究員研修講座 金子先生(プラスチックごみについて) 10/7



研究所交流拠点発足



11/19 もったいないバザール開催(企業出展・展示・ワークショップ等)
(詳細HP・当日のスタッフを募集しています)

コロナも 5 類になりましたので多くの方が集う施設として取り組んでいます。
その一環として工房3を市民研究所の交流拠点とし、9/24 黒田先生をお招きして「第1回くるくるサロン」を開催しました。



TOPICS

くるくるキッズ環境スクール

キッズ環境スクール生10名、保護者、同伴の子どもが紙すきを体験をしました。紙のリサイクルを学んだ後、スクール生は受講終了証書用のB5サイズの紙すき用紙とハガキを作りました。ハガキ作りは保護者と一緒に模様を考えたり、和気あいあいとした雰囲気でした。

12月23日に予定しているくるくるキッズ環境スクールの閉校式でスクール生が作成した修了証を受け取ってもらえるのを楽しみにしています。

これを機会に環境について関心を深めてもらえていたら嬉しく思います。



(紙すき体験と環境アクションチーム 松本)

第2回 市民研修講座 「プラスチックごみを考える」

2022年4月から「プラスチック資源循環促進法」ができ、製造、販売企業・消費者・自治体のそれぞれが役割を持って、リユース、リデュース、リサイクル、Renewable、プラスチックの減量を目指すようになった。

私たち消費者は安価だから買う。ではなく、物を「永く使う意識と目」を持つことが大切で、地球温暖化、海洋汚染、マイクロプラスチックを少なくし、ごみの減量にもつながると思った。



(市民とお店をエコでつなぐプロジェクトチーム 打越)

プロジェクトチーム（PT）・アクションチーム（AT）活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

認定 NPO 法人環境市民・グリーンコンシューマーグループ主催の活動に参加し、吹田市内のスーパーにてプラスチックに関する調査を行いました。また、身の回りの「気づき」から、プラスチックやその代替素材について見直す活動を始めました。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

「なかなか進まない自治体の一括回収」「京都大学プラ・イド革命」「はじめよう『雑がみ』リサイクル」など、タイムリーな話題や皆さんと一緒に考えたい内容をブログで随時更新しています。ぜひご覧ください。

身近な環境を調べよう PT

第1回くるくるサロンでは、調査を行っている釈迦が池に関する興味深いお話を、主担研究員黒田先生から聞きました。また、くるくるキッズ環境スクールの講座として、スクール生とともに糸田川を訪れ、生物や植物の観察を行いました。



SDGs 啓発 PT

11月19日（土）開催の『もったいないバザール』において「もったいないやん食品ロスカードゲーム」をチームとして行うことになりました。ゲームを体験することにより、短時間でSDGsについて学べる内容です。ぜひ体験してみてください。

手作りおもちゃと環境 AT

9月は“WorldCleanupDay”に参加しました。9月～12月、施設見学後の体験・クラブ支援・イベントのワークショップなど出前講座を勢力的に行いました。協力して対応していきたいです。

紙すき体験と環境 AT

出前講座で公民館や学習支援など、依頼があれば出向いています。森林の大切さ、紙の資源化を伝えていきたいです。小学校へのクラブ支援で用具の運搬に関して、コンパクトに運びやすくできるように考えたいです。

マイ食器啓発 AT

11月のロハスフェスタ出展時と12月のイベント時にマイ食器啓発活動を行う予定です。

吹田ごみゼロシステム研究プロジェクトチーム

このチームは、「吹田市のごみゼロシステム」という一つの山の頂上を目指して、角度の違う方向から各人がテーマを決めて調査研究しています。現在 5 名のメンバーで活動しています。以下に、各自が取り組んでいるテーマについて記します。

先進市はどうしているか

山下宗一

如何にごみ排出量を減らし、リサイクル率を高めるかが、ごみ行政の大きな課題の一つであります。これに先進的に取り組んでいる「3R 取組上位市」に聞き取り、調査し、実態を把握することで、ごみゼロへの道につながると考えており、私達と関係が深い吹田市にとっても有益となる情報を提供でき、上位市をピックアップし、研究報告書第 30 巻のように表一覧にしました。この間、灰溶融固化、セメントリサイクル、生ごみ及び剪定枝を中心に調査を行いました。

ごみを焼却すると焼却灰となり、容積が 1/10～1/20 になります。灰溶融固化とは、この焼却灰を灰溶融固化設備で 1200℃～1300℃以上の高温で溶融し、水冷で固化して生成物（スラグ）を作ることを行います。容積がさらに 1/2 となります。この技術は、ダイオキシン対策として登場しました。国の思惑は、焼却灰の無害化、最終処分地の延命、スラグ＆メタルの資源化でありましたが、地方自治体では、建設コスト、処理コストが割高、トラブル続出、施設の操作＆現場管理が難しい（特に熱管理）、スラグやメタルの資源化で、引き取り手が無い等々で運転停止、廃止の方向が主流となっていることが判明しました。

セメントリサイクルについては、前処理してセメント原料にするという道があることが分かりました。セメントリサイクルは、廃棄物処理、最終処分地延命、最終処分費用の削減、リサイ

クルの効果があり、安全性が高い特徴があります。反面、費用面では、埋立処分（フェニックス）の 2 倍強掛かってしまうことが分かりました。

どこの自治体でも、可燃物の中に、生ごみや剪定枝が混ざっていることは知られています。これをいかに減らすかがごみ減量の課題といえます。調査をしていくと、剪定枝の収集、生ごみ処理を進めることが有用のようです。

さらに調査をすすめていきます。

ブログ活用のススメ

2 R A R A

今年度もプラスチック問題の研究を進めていますが、その傍らでブログの活用にも力を入れています。その目的は市民研究員としての活動を通じて得た成果や進捗、トピックスなどをより気軽に世間に向けて発信することです。

しばらく停滞していたブログの発信はメンバーやご指導の先生方の多大なご協力の下、2023 年 3 月以降 9 月末までに合計 26 本の記事を発信できました。毎週水曜日、最低でも週 1 回の頻度での発信を目指していますが、その定着にはもうあと一歩の詰めが必要です。

ブログの一番の効用はいろいろな方が見にくれてくれることです。市民研究所のブログにもプラスチック問題の発信で有名なブロガーさん、エシカル消費の実践者として評判のブロガーさんなどが訪問してくれていますが、まだまだ訪問者が少ないことが課題のひとつです。

この機会に是非みなさんも一度ブログを覗いてみてください。最近発信したブログ記事のタイトル一覧の URL はこちらです。

<https://ameblo.jp/suitagomi/entrylist.html>

そして アメーバ suitagomi で検索いただければいつもトップに出てくると思います。

ご興味のある方はくるくるプラザの市民研究所にご連絡ください。気楽に、ブログの記事を発信しながら一緒に学んでいきましょう！

ごみを捨てるのって、ただですか？

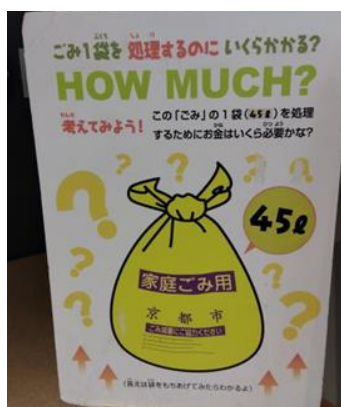
井上道代

京都市の「京（みやこ）エコロジーセンター」を訪問する機会があり、興味深い展示を見つけました。「ごみ 1 袋を処理するのにいくらかかる？」とあり、ごみ袋を持ち上げると 241 円と書いてありました。この 241 円は、税金から出しています。

環境を守るためにも、市民の税金を有効に使うためにも、ごみの減量は不可欠です。「ふだん見えないごみの処理費用を見える化させ、ごみを減量することにつながる仕組みを、吹田市でも作ることはできないか？」と思いました。

京都市をはじめ、有料のごみ袋を導入することで、ごみの分別・リサイクル率が増え、ごみ減量につながっているといわれています。有料のごみ袋が、ごみを減らすことの経済的インセンティブ（行動を促す動機）になっていると思われます。

このことを詳しく調べ、吹田のごみ減量・リサイクル率アップにつなげたいと思っています。



「プラごみ新法」で市民にできることは何ですか？

茶園征也

2022 年 4 月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（プラごみ新法）では、国、都道府県、市町村、事業者、消費者等それぞれの立場での役割を明確にしています。

消費者（市民）の役割①プラスチック使用製品の仕様の合理化によりプラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制すること②事業者及び市町村双方の回収ルートに適した分別排出をすること③認定プラスチック使用製品を使用することに努めなければなりません。

吹田市はプラごみの分別収集に係る市民の負担やコスト等の様々な課題及び国・大阪府の動向を踏まえ、分別収集等について検討中と聞きます。

プラごみ新法の適用されるまでに、市民の役割をより分かりやすく理解できるような資料作りを進めたいと思います。

地域コンポストについて考えること

平木陽子

この 5 月に豊中市の「緑と食品のリサイクルプラザ」（生ごみ・剪定枝堆肥化施設）を見学しました。コンポストは生ごみを燃やさないので環境に良いといわれているが、メタンが発生する為、循環させる事が大切だという事、コンポストを始めても 1～2 年で辞めてしまう人が多いという話を聞きました。

利便性の高いバグ型コンポストの登場でコンポストユーザーは増えているようですが、基材の購入に費用がかかるコンポストを多くの方が始め、継続するには何らかの「価値」が必要と考えます。

地域コンポストでは美味しい野菜を作る完熟堆肥作りやコミュニティづくりなど、個人では難しい価値づくりができると考え研究していきたいと思っています。

「釈迦ヶ池」が世界に知られた日

主担研究員 黒田 勇

1880(明治13)年2月7日、吹田市の釈迦ヶ池で、『プロイセン皇孫吹田遊獵事件』として知られる国際的「大事件」が発生した。

通説では、「大阪府島下郡小路村(現吹田市岸部北)の禁獵の釈迦ヶ池で、神戸に滞在していたドイツ皇帝(プロイセン国王ヴィルヘルム1世)の孫、ハインリッヒがお供を連れて鴨獵をした。七尾村の井田元吉がそれを発見、皇子を殴打し、プロイセン王国側が日本に抗議、外交問題に発展した」という。

なぜ、明治初期にドイツ皇帝の孫が日本にいたのか。プロイセンが1870年普仏戦争でフランスを破り、プロイセン国王ヴィルヘルム1世がドイツ皇帝となりドイツ帝国が成立した。その息子ヴィルヘルム2世は海軍を増強し、太平洋へ進出してきた。その次男ハインリッヒが、南米とハワイをまわり、1879(明治12)年5月23日横浜入港、当時の日本政府は彼らを厚遇した。

彼らは1年も日本に滞在し、船が神戸港に停泊し、退屈していたハインリッヒたちが吹田まで鴨撃ちにやってきて事件が起きたのである。(この3年前に神戸と大阪に鉄道が開通し、さらに2年後に京都まで延伸、吹田停留所が設置された。)

日本側の記録によれば、元吉は、皇孫一行のうちの日本人の人足とトラブルになり、彼らに乱暴をされ、警官が駆けつけたところで、随同行のドイツ人にも殴打された。警官たちは、外国人ということで慎重に尋問するが、彼らは名乗らず、吹田から大阪府庁まで歩き、府知事に抗議しようとするが、彼らはここでも名乗らなかったため、知事に面会できないまま、最終列車で神戸まで帰ったという。

翌8日ドイツ領事が大阪府へ抗議、公使も外務卿井上馨に抗議電報を送り、皇孫に対する「不敬」と「治外法権」を主張し、「発砲の証拠はあ

るのか」などの抗議をした。渡邊昇大阪府知事も井上外務卿に電報し、「安易な妥協で謝罪や処分をすべきではない」と主張したが、日本政府はドイツと結んでいた「不平等条約」には勝てず、屈辱的な決着を強いられた。

そして、14日に吉志部神社と大阪府庁で「謝罪式」を行った。さらに警官の免職や、新聞の発禁処分と記者の禁固刑の処分がなされた。これには国民の反発も大きく、新生明治政府への信頼性を著しく損ねた事件とされる。

ところで、吹田に伝わる「伝承」では、元吉さんはハインリッヒを投げ飛ばし、切腹を命じられるが、知事の計らいで、「ハラキリ」のまねだけで罪を逃れたと伝えられるが、実際には彼はドイツ側から暴行を受けた単なる被害者であり、何のお咎めもなかったようだ。

さて、この事件から140年以上が経ち、事件を知る人も少なくなり、大阪有数のため池であった釈迦ヶ池も名神高速道路で分断され、また近年には鴨もいなくなった。

吹田市民がこの歴史を思い起こし、また今も残る吹田の豊かな自然の保護に努め、できればグルメの町吹田に再び「鴨鍋」が復活する日を望みたいものだ。

(了)



市民研究所通信

くるくるキッズ環境スクール

環境問題に興味・関心を持つ小学校1年生から3年生までの10名が、7月29日の開校式からスタートしました。開校式では自己紹介・意気込みなどを伺い、市民研究員による出前講座、ふろしきの活用・紙パックでおもちゃ作りを体験。8月2日は兵庫県立人と自然の博物館へ親子見学バスツアーを開催しました。博物館での見学や体験を通して、子どもたちに自然の豊かさや生物の多様性を学んでもらえたと思います。アンモナイトのレプリカ作りは個性が光る、素敵な作品ばかりでした。続いての講座はくるくるプラザでの工房体験、緑工房で紙すき体験・木工工房で鉛筆立てロボットを作成しました。紙パックや端材を使い、不要になったモノをごみではなく、工夫して新しいモノに変え

ムダなく使えることを知ってもらえたと思います。10月14日には阪急豊津駅～関大前駅付近を流れている糸田川の自然観察会を行いました。どんぐりなどを使った秋を感じる体験ができました。天気もよく最高の行楽日和でした。

今後は11月に開催するイベント、“もったいないバザール”のお手伝いをしてもらう予定で、12月23日の閉校式には紙すき体験で作成した修了証の授与で今年度のくるくるキッズ環境スクールを終える予定です。

この先、環境問題に率先していく大人になってくれることを願うと共に、私たちも今の自分たちには何ができるのか？をしっかりと考え行動していきたいと思います。



(事務局 浅野)

市民研究員募集中！

くるくるプラザの市民研究所では、環境に関心のある人たちの交流の場、環境問題について調査・研究活動を行い、その成果を啓発に生かします。市民目線で、調査・研究・啓発活動を一緒にしませんか？ 興味のある方はHPから、またはお電話にてご連絡ください！

市民研究所には、市民とお店をエコでつなぐPT、吹田ごみゼロシステム研究PT、身近な環境を調べようPT、SDGs啓発PT、手作りおもちゃと環境AT、紙すき体験と環境AT、マイ食器啓発ATの7つのPT(プロジェクトチーム)・AT(アクションチーム)があり、ワークショップ、環境出前講座、執筆などの活動を行っています。

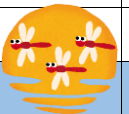
Q：ちょっといきなりPT・ATに所属するのは敷居が高いのですが…。

A：まずはプラザに遊びにきてみませんか。お気軽に事業担当へお声掛けください。

*** 一緒にSDGsに向けて活動しましょう！ ***



研究所 11 月 の 予 定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	水	定例会	10:00～ プラザ講義室	ごみゼロシステム研究PT
2	木			
3	金	休館日		文化の日
4	土	定例会 第8回代表者会議	11:00～情報スタジオ13: 16～プラザ講義室	紙すき体験と環境AT 主担・代表者・事務局
5	日			
6	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	藤白台小学校	手作りおもちゃと 環境AT
7	火	定例会	13:00～工房3 14:00～情報スタジオ	手作りおもちゃと環境 AT/SDGs啓発PT
8	水			
9	木			
10	金	ロハスフェスタ	万博公園東の広場	
11	土	ロハスフェスタ	万博公園東の広場	
12	日	ロハスフェスタ	万博公園東の広場	
13	月	休館日		
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土	定例会	10:00～ プラザ講義室	市民とお店をエ コでつなぐPT
19	日	もったいないバザール キッズ環境スクール⑥	10:00～14:00 プラザ	
20	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千里第一小学校	手作りおもちゃと 環境AT
21	火			
22	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹田第一小学校	SDGs啓発PT
23	木	休館日		勤労感謝の日
24	金	第3回もったいないバザール 実行委員会	13:30～ プラザ	
25	土			
26	日			
27	月	休館日		
28	火			
29	水	環境出前講座(クラブ支援)	山二小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT
30	木			

研究所 12 月 の 予 定



日	曜	催し	時間・場所	備考
1	金			
2	土	第9回代表者会議 市民研究所研究実践発表会	10:00～プラザ 13:00～プラザ	役員・主担・市民 研究員・事務局
3	日	定例会	13:00～工房3	手作りおもちゃ と環境AT
4	月	休館日		
5	火			
6	水			
7	木			
8	金	定例会	14:00～ プラザ講義室	身近な環境を調 べようPT
9	土			
10	日	くるくるクリスマス		●
11	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千里第一小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT
12	火			
13	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹田第一小学校	紙すき体験と環 境AT
14	木			
15	金	第4回研究運営委員会 《ニュース原稿締切》	14:00～ プラザ講義室	役員・主担・市民 研究員・事務局
16	土			
17	日	くるくるサロン(三輪副所長)	13:30～工房3	
18	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	藤白台小学校	SDGs啓発PT
19	火			
20	水	環境出前講座(クラブ支援)	山二小学校	手作りおもちゃと 環境AT
21	木			
22	金			
23	土	くるくるキッズ環境スクール閉校 式くるくる環境スクール閉校式	10:00～12:00 13:30～15:30 プラザ講義室	
24	日			
25	月	休館日		
26	火	ニュース発送作業		紙すき体験と環 境AT
27	水			
28	木			
29	金	休館日		
30	土	休館日		
31	日	休館日		

12/2 13:00～16:00
くるくる環境スクール⑧もあります。



は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。